

家庭教育力の強化を図ろう

～ 子どもたちの健やかな成長を支えよう ～

豊川市立御油小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、豊川市西部にある、かつての東海道の宿場町にある。特に、御油宿と隣接する赤坂宿の間にある松並木は国の天然記念物に指定されており、江戸時代の面影を残す風情ある場所として知られている。本校は、明治6年に第二大学区第四十五番御油小学校として設立し、令和5年に創立150周年を迎えた歴史ある学校であり、子どもたちは、松並木の学習を生活科や総合的な学習で6年間かけて行っている。また、松の苗木を育てたり、植樹をしたりと、その愛護活動にも深く関わっている。

2 研究のねらい

P T A活動を通し、保護者や学校、地域の大人たちが協力して、「子ども一人一人の成長に関心を持ち、支え合おう」という思いを共有することで、家庭教育力の向上をめざす。

3 研究の仮説

保護者が参加できる P T A 活動の充実を図り、積極的に学校と家庭がかかわることで、より強い家庭教育力を育てる一助となると考える。

4 研究の方法

学校の年間行事予定の中に保護者参加の行事を計画的に位置づける。

5 研究の実践

(1) 登校時の見守り立ち番

主に安全部で月1回程度、地区の危険個所に立って、地域の見守り隊や交通指導員の方々とともに子どもたちの登校を見守っている。

(2) 救急救命講習会

学校の水泳授業が始まる前に消防署の方を講師にお招きし、夏休みのプール当番をお願いする6年生の保護者と職員を対象とした講習会を実施した。人形を使って心肺蘇生や A E D の取扱い方を学び、もしもの時の備えをすることができた。



(3) スマホ・SNS安全教室

4、5、6年生を対象に、情報モラルについて適切な知識を身につけ、スマホやSNSの便利さと危険性、スマホやSNSを使用する際に気をつけることなど、トラブル防止を目的としたスマホ・SNS教室を実施した。保護者にはビデオオンデマンドで大人向け講座を配信し、家庭で

視聴していただいたり、子どもが学校で学んだことを家庭で話題にしたりすることで、家庭でのルール作りの一助としていただけたのではないかと考えている。

（４）ＰＴＡクリーン作戦

本校では、毎年９月の第２土曜日を授業参観日とし、授業参観後に通学団ごとに分かれて親子で環境整備に取り組んでいる。

夏の間大きく成長した草を取るのには、普段の子どもたちの清掃活動だけでは時間も人手も足りないところを、多くの保護者が参加してくださることで、短時間でもごみ袋２５０袋ほどの量の草を取ることができ、学校がきれいになった。親子で一緒に活動することで、子どもたちには、学校に愛着をもち、大切に思う気持ちが育ち、保護者にとっては、子どもたちの学校での様子を知るよい機会となっている。



（５）給食試食会

文化部が中心となって企画・運営し、１年生の保護者を対象として行っている。保護者にとっては、子どもたちの学校での食事の様子を見ることが出来るチャンスとなっているため、毎年たくさんの方々に参加していただいている。普段、子どもたちが食べている給食を体験するとともに、給食の様子を見学したり、栄養教諭の話を聞いたりして、学校給食についての理解を深める機会となっている。



（６）子ども食堂

月に１回、地域の更生保護女性会が子ども食堂を開いている。ＰＴＡ運営委員の方に、調理の補助や子どもたちの学習支援、レクリエーション活動のサポートをしていただいている。

６ 研究の考察

保護者がＰＴＡ活動に積極的にかかわり、学校行事を支えていることで、子どもたちをみんなで育てていこうとする空気を生み出す。子どもたちが、「自分は大切にされている」「地域に見守られている」と感じられる環境を作ることが、子どもたちの健やかな成長を支える土台となっている。

７ 成果と今後の課題

コロナ禍以降、ＰＴＡ活動の在り方が見直され、活動自体がなくなってしまうたり規模を小さくして行われたりしている。ＰＴＡが保護者の負担感を増すような存在になるのではなく、子どもたちのためにどんなことができそうかと考えることは今後も必要である。保護者と学校がつながって、みんなで子どもたちを育て、子どもたちの健やかな成長を支えていこうとの思いを共有できるＰＴＡ活動となるよう、充実した活動に取り組んでいきたい。